

# 測定結果(詳細分析)

試料 No. **NNC-12-81002** 測定時間 **15分** 測定日 **2012/8/10**  
 日暮里放射能測定所 -にっこり館-

3inch NaIシンチレーション式 測定器EMF211 容器 **350cc ポリ容器**  
 専用解析ソフトウェアによる測定 質量 **279.0g**

検体名	地表	土	肥料/腐葉土	
土/高洲中央公園植込み	2cm	基準なし	400	旧作付け制限(5,000Bq/kg) 埋立て基準(8,000Bq/kg)

セシウム137		セシウム134	
参考値	530.8 Bq/kg		335.2 Bq/kg
検出限界	15.8 Bq/kg	検出限界	16.9 Bq/kg
不確かさ	32.4±Bq/kg	不確かさ	28.5±Bq/kg
セシウム137+134の合算値			
参考値	866.0 Bq/kg		
	不確かさ	43.2±Bq/kg	

比重1.0、地表1cmを係数10とした場合 Bq/m<sup>2</sup>換算値 **14,643Bq/m<sup>2</sup>**

ベラルーシ避難基準	判定
移住義務ゾーン148万Bq/m <sup>2</sup> ~	規定値以下
移住権利ゾーン55.5万~148万	
移住推奨ゾーン18.5万~55.5万Bq/m <sup>2</sup>	
定期的放射能管理ゾーン3.7万~18.5万Bq/m <sup>2</sup>	

上記を体内に取り込んだ場合の推定内部被曝線量 ※経口摂取

ICRP(国際放射線防護委員会)基準年齢別被曝量 **3.70μ Sv**  
 年間(365日)累計 **1.35mSv/y**

ECRR(欧州放射線リスク委員会)基準年齢別被曝量 **11.49μ Sv**  
 年間(365日)累計 **4.19mSv/y**

□年齢別被曝量は、特に希望がない場合17歳以上で算出します。また持ち込まれた質量を基準に計算しております。

kgあたりの換算値とは異なりますので、ご承知ください。(ECRR基準は14歳以上)

◎年間累計線量に関しては生体内での実効半減期を考慮せず、365日かけたものです。

(検出限界値未満だった場合は、下限値を元にした計算結果を表記いたします。)

●なお放射能は一定の数値を持たず、崩壊確率に依るため、測定環境や機器によっても2割前後の不確かさが生じます。

従って検査結果の取扱い、もしくは検査結果の判明によって生じる一切の問題、紛議または経済的負担に関して、当施設の関与するところではなく、なんらの責任も負いかねます。また、当施設が実施した検査の対象は、お客様より提出頂いた検体単体に対してのみであり、当該検体の存在した母集団については、検体と同内容の検査結果を示すものではありません。

◇一検査に対して、弊社が発行する検査結果書面は原則として一部のみであり、再発行はできません。

◆低線量被曝の健康被害に関しては、現代の科学では完全な判断基準がなく、当館から結果に関するいかなる判断、基準の提示も致しかねます。あくまで自己責任においてご判断ください。

△厚労省の定めにより、当館で使用する機器では一般食品のスクリーニングのみが認められており、それ以外の測定結果は正規のものとは区別していただく必要があります。

▲全ての検査結果は「参考値」とするよう厚労省に指示されておりますので、確定検査につきましては、Ge(ゲルマニウム)式測定器での検査が必要となります。